

柘植地域

まちづくりだより

第283号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)



発行日

〒五一九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
2022(令和4)年8月1日(月)

柘植地域俳句コーナー
川岸へ

親子三代

蛭狩

松浦恵子

令和4年度『いがまち合同 区長会』が開催されました

7月19日(火)午後7時から西柘植の「ふるさと会館」小ホールに於いて、令和4年度のいがまち3地区(柘植・西柘植・壬生野)合同区長会が開催されました。

「いがまち合同区長会」は今回で9回目と為り、過去幾多の課題が有りましたが、昨年度は「支所廃止」の件で其の後紛糾し、当該自治会から「支所廃止撤回請願書」が出され議会で採択。結果、支所存続に至ったものの支所内の2つの課(振興課・住民福祉課)は廃止と為り規模も縮小されました。全ての支所は本庁の地域連携部に組み込まれ其の経緯は記憶に新しい次第です。

今回の出席者は3地区全区長・同役員、行政からは、伊賀市役所地域連携部・伊賀支所、業者サイドからDMG森精機(株)・(株)服部建築事務所、事務局として3地区市民センター長、等々総勢63名が一堂に会しました。冒頭、壬生野まちづくり協議

会 落合新会長から就任挨拶が有り、其の後2つの事項に関して、以下の説明が有りました。

【新堂駅前開発計画】について・・DMG森精機 新堂駅周辺プロジェクト 西山室長から建設計画の概要と工程説明有り、9月着工。来年7月頃竣工。10月頃利用開始。建物の中に入る施設は伊賀支所・金融機関・図書館・公益的施設(未定)の予定。駅前ロータリーの整備等も計画との事です。御代に伊賀事業所を置く森精機と伊賀市、地元の西柘植地域まちづくり協議会は19年1月、地域活性化を目的とした包括連携協定を締結。あけぼの学園高校前の耕作放棄地を活用したブドウ畑のワイナリー事業、駅周辺のガードレールや歩道を塗装する景観事業も行う計画(22年1月・中日新聞)

【自治センター化・指定管理制度】について・地域連携部 伊藤主幹より指定管理制度の概要説明有り令和4年度から指定管理を行っている市民センターは小田・府中・古山・ゆめが丘・西柘植・河合・博要・高尾の8ヶ所/令和5年度から希望している

市民センターは4ヶ所有り、伊賀市の38センター中、12ヶ所に為るとの事です。市直営から自治協議会に運営管理が移管され、市からの委託料で賄う制度です。



『福祉交流会』開催しました

柘植地域福祉ネットワーク会議 つげふくしネット議長 柘植 美智代

7月2日(土) 柘植地区市民センターに於いて柘植地区民生委員・福祉協力員・健康福祉部員・つげふくしネット委員等35名の参加者のもと開催致しました。

つげまちづくりの大きな目標：一人一人がいきいきとふれあい 支え合い 暮らそう みんなの町 柘植：の大きな柱に向かって各部会・委員会が事業に取り組んでいます。つげふくしネットでも、この目標の為、各区のふくしネット委員を中心に事業に取り組んでおります。

今回の「交流会」はコロナの為、前年度より延期になっておりましたが、万全の予防措置のもと、無事終える事が出来ました。その内容について報告致します。

《第一部》講師 村松経子さん(栗東市在住 広徳寺の奥さん)・「民生委員の経験から学んだ事」をテーマに、3期9年地域に根差し地域の高齢者や子供たちの見守り役としての経験談や、3・11東日本大震災の避難所に「傾聴ボランティア」として参加したお話しをしていただきました。

「傾聴技法 あいづち「うん・うん はい ああなるほど」と声を出さずに頭を上下に振る／繰り返し「オウム返し」／言い換え

「言葉の意味が変わらない程度にカウンセラーが言い換える」・認知症予防の為に脳トレについても沢山のメニューの中からいくつか紹介していただきました。

《第二部》進行役・社会福祉コーディネーター・野田守さん 宇佐美理絵さん

「助け合い体験ゲーム」：助けられ上手になる為に：6〜7人のグループに分かれ(ゴミ出し・買い物・草引き・話し相手等)100枚程のカードの中から助けて欲しいカード/助けられるカードを交換し合うゲームです。将来助けられ上手になる為には今助け上手になっておくべしとの事でした。ゲームを通して現在及び10年後の柘植地域の福祉課題が見えて来ました。

地域の福祉について、関係者が集い、話し合い、10年・20年後の我が事として考え、行動する「きっかけづくり」となりました。



講師の村松経子さんは、誰もが柘植に住み続けたい「きっかけづくり」



【サークル紹介】 第7弾 音楽グループ 『グリーンリーフス』

六月二十日(月) 柘植地区市民センターでグリーンリーフスのコンサートを開きました。来て頂いた皆さんありがとうございました。紙面を借りてお礼を申し上げます。グループ名は、柘植青葉台在住の音楽好きが集まったのが最初で、青葉「グリーンリーフス」と名前をつけました。

ピアノ、マンドリン、二胡などを使って好きな曲、演奏してみたい曲を練習してい



ます。映画音楽、ポピュラーなど、いろいろなジャンルの曲に挑戦しています。今回、コンサートを目標として、一年間練習してきました。満足のいく演奏はできていませんが、老化防止を兼ねての練習は楽しいです。

又、来年のコンサートを目標にして、新しい曲に挑戦していきたいと考えています。



7月23日(土)夜8時から、数百発の花火が打ち上げられた後、無病息災・五穀豊穡を願って、探湯神事が行われました。翌日の祇園祭では、稚児踊りや花笠神事(うちわ取り)を挙行、コロナ禍で中止に為っていた神事が3年振りに復活しました。

都美恵神社 祇園祭 奉納 花火大会

会場の皆さんの好きなジャンルが演歌ということでしたので、演歌もプログラムに入れ、少しでもレベルアップをしていきます。今後とも、どうぞよろしくお願ひします。へグリーンリース一同



【柘植小学校3年生】聞き取り学習
にて市民センター来訪

昨年に引き続き、柘植小学校第3学年の社会科「私たちの住む地域について」の学習の一環で、柘植地区市民センターに「聞き取り学習」の目的で、3年生・計27名



が6月28日、松儀教諭に引率され、元氣一杯来所してくれました。

生徒達から出た質問内容は、市民センターの役割・業務内容・開催している各種会議行事等々仕事の中身についての質問が多く出て午前一杯掛けた学習会と为りました。又、毎月発行している「新聞」「柘植地域まちづくりだより」に関しても掲載写真に知っている人が載るとうれししい等の感想。

更に各部屋の見学希望有り、特に和室と厨房に興味有り、色々質問が出た次第です。当日、伊賀上野ケーブルTVの取材が入り6月29日夜7時から放映されました。



コンマク畑

300本のコンマクが植えられた畑で新芽が一斉に芽吹き新緑の蒟蒻畑が真夏の陽光を浴びて居ます。2年後にはコンマク芋の収穫が可能。加工品が期待出来るとの事です。(まちだ農園にて)

☆☆ 編集後記 ☆☆

閑さや岩にしみ入る蝉の声

▼松尾芭蕉が元禄2年(1689年)7月出羽国(山形市)の山寺、立石寺参詣時に詠んだ名句。「奥の細道」収録句の中でも秀吟と云われる所以は「静寂の境地」無の世界を表す類稀為る表現手法・蝉が鳴きしきる騒然たる現実の世界とは別次元の、現実のあなたに広がる天地(宇宙)の閑さを非常に巧みに詠んだ名作中の名作。

▼「蝉」の話は1年前の第272号で記載しましたが、約7年間土中生活後、地上に出て子孫を残した後、10日前後で絶命。

▼北米には地中で13年又は17年過ごしその周期毎に大量発生。周期年数が素数である事から「素数ゼミ」とも呼ばれる長寿の蝉や、全長13cm、羽を広げると20センチにも及ぶ世界最大のゼミ「テイオウゼミ」等が居り、昆虫の中でも特異な生態を有する種が「カメムシ目(半翅目)ゼミ科」に属するゼミたちです。

▼芭蕉が生きた江戸中期(元禄・宝永年間)に起きた主な出来事として1687年5代将軍・徳川綱吉が發布した「生類憐みの令」翁逝去後の元禄15(1702年)「赤穂浪士討ち入り」宝永4(1707年)には「富士山の宝永大噴火」が起き過去10回の富士山噴火では最新最大でした。(清水)